

仲間や教員陣に刺激を受けつつ 自らの問いとじっくり向き合う ぜいたくで貴重な時間でした

教育コミュニケーションコース 2025年3月修了 松崎 康祐さん

兵教大 → 公立小学校教諭 → 兵教大大学院 → 公立小学校教諭

兵教大に入学した理由

長年勤めた初任校が授業研究に熱心で、通常業務の傍ら、道徳や算数の授業づくりに取り組んできました。どの教員でも同じ結果が得られるようにと研究を進めるうち、「教員が入れ替わっても授業は成立するけれども、その人が授業する意味や価値がどこにあるのだろう」と疑問を抱き、教員の代替可能性に興味を持つようになりました。そんな時、現職派遣制度で兵教大大学院に進学した職場の先輩から「大学院でそれを研究するのもいいんじゃないか」と後押しされ、学校に申請しました。教員陣の研究テーマの中からその分野を学べそうな先生を探すところから始め、教育哲学を専門とする大関達也先生が所属されている教育コミュニケーションコースを志望しました。

ココが良かった！

期待通り、自分の考えたい問いとじっくり向き合う時間や環境を確保できたことです。一方、予想外に良かった点は、同じコースの仲間と過ごした時間が充実していたことです。院では一人で黙々と研究を進めるイメージを抱いていましたが、同級生には同じ

立場の現職教員だけでなくストレート院生もいて、研究室などでよくディスカッションしました。特に、研究が行き詰まった時には、自分とは異なる視点からの意見に刺激をもらうことで、内容をより深めることができました。また、コースには教育哲学だけでなく、心理学や歴史学、社会学など多種多様な研究分野の先生が在籍されているので、自分の進捗状況の発表に対して違う角度から指摘を受けることもあり、研究の幅がさらに広がりました。

実感！自分の成長

もともと知らない人と話すのがそんなに好きではな

く、身構えるタイプでした。でも、大学院には本当に多種多様な人がいるので人と関わることが面白いと感じ、気付けば自分から積極的に話すようになっていました。研究を通じて、教員だけでなく子どもも代替不可能で一人一人が大事な存在だと再認識しました。言葉にすると当たり前のことのようにですが、復職してからより実感を伴うようになり、児童と対話し互いに理解を深めようとする時間が増えました。以前と比べて自ら大変なことをしているとも思いますが、きっとそこに価値があるのだろうと信じて日々を過ごしています。

進学を考えている人へのメッセージ

日々、教育の実践を積み重ねる中で感じる「これって本当にいいのかな」という疑問について一度立ち止まって考えたい人には、大学院進学は本当にお勧めです。貴重な2年間を過ごせましたし、研究を通じて疑問に対する道筋が見えました。同時に新たな研究課題も見つかったので、今後も研究を続けていきたいと考えています。



Profile

恩師の影響で中学生になる頃には小学校教員を志し、大学を卒業後、西脇市内の小学校教員に。12年目の2023年4月、県教育委員会の現職派遣制度を利用して兵庫教育大学大学院に入学し、希望通り大関達也ゼミに所属。25年3月に修了後は復職し、4年生の担任を務めた。

現職教員が兵庫教育大学大学院で学ぶ方法

公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、教育委員会や教育センター等で教育行政に携わる指導主事などが、教員の身分を有したまま学び、学位を取得することができます。詳しくは、所属する都道府県または市町村の教育委員会へご相談ください。

- 1 都道府県等教育委員会からの派遣により学ぶ
全国の都道府県等教育委員会から派遣された現職教員が学んでいます(2025年10月1日現在122人)。
- 2 大学院修学休業制度を利用して学ぶ
在職期間が3年以上ある教員が対象で、最長3年間休職できます(2025年10月1日現在13人)。

- 3 自己啓発等休業制度で学ぶ
地方公務員または国家公務員として2年以上の在職期間がある者が対象で、原則2年間休職できます。
- 4 働きながらフレックスクラスで学ぶ
全専攻で開講しています。